

会 議 録

(1 / 6)

会議の名称	令和5年度第2回川越市立学校給食センター運営委員会
開催日時	令和6年2月6日(火) 10時00分 開会 ・ 11時10分 閉会
開催場所	川越市立菅間第二学校給食センター 研修室
議長(会長)氏名	会長 山本 正博
出席者(委員)氏名	山本正博 米塚貴洋 吉川恭子 吉田朋矢 尾関哲也 小俣和弘 西村早苗 (7名)
欠席者(委員)氏名	浅野 聡 原江里子 戸田知子 星 志保 丸山 浩 川村清美 (6名)
事務局職員職氏名	学校教育部長 岡島一恵 学校給食課長 宮沢 茂 学校給食課副課長 石川宣明 菅間学校給食センター所長 石井正孝 菅間第二学校給食センター所長 高橋 淳 今成学校給食センター所長 塩野 修 学校給食課副主幹 日野原純子 学校給食課主査 松栄睦美 学校給食課主任 小澤裕樹
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 令和6年度学校給食業務事業計画(案)について (2) 学校給食費について 3 報告 (1) 学校給食の提供状況について 4 その他 5 閉会
配布資料	第2回 川越市立学校給食センター運営委員会次第 川越市立学校給食センター運営委員会名簿 資料 令和6年度学校給食業務事業計画(案) 川越市学校給食費の推移 学校給食費について(埼玉県内自治体) 学校給食費について(中核市)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会
事務局	2 会議 当運営委員会は、川越市附属機関等の会議の公開に関する実施基準第2条の規定により、原則公開となるが、一部令和6年度予算の審議部分のみ非公開とした。 (傍聴者は1名) 本日の委員の皆様の出席状況は、13名の委員のうち、出席が7名、欠席が6名である。当運営委員会規則第4条の規定により委員会は成立している。
事務局	—配布資料確認—
会長	それでは、議題(1)令和6年度学校給食業務事業計画(案)について(予算部分を除き)説明していただく。
学校給食課長	概要説明
委員	コロナ禍の約4年間で児童・生徒の肥満や痩せ傾向が増えており、学校給食や食育の大切さを痛感している。学校との連携を密にし、今まで通りの事業だけではなく、新たなものが必要である。大きな変化に対応していくに当たり、学校が発信元であることは、信頼性がとても高い。また、デジタル化も進んでおり、積極的に活用していくべきである。
学校給食課長	ルールに乗っている事業をアップグレードしていくことが大切である。本市では、健康づくりの部署でも同様な事業を展開している。学校教育の視点、健康の視点など様々あるが、校長会、栄養士からの情報も集約し、継続性のある事業を行っていきたいと考える。
委員	学校現場において、担任の先生以外の外部講師(栄養士)を迎えて食育指導をいただけることはたいへんありがたい。家庭科や入学説明の際等にもご協力いただきたい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p>それでは、傍聴者の方のご退室をお願いします。</p> <p>～傍聴者1名退室～</p>
会長	事務局より、引き続き説明をいただく。
学校給食課長	概要説明
会長	ご質問等なければ、議題（1）については、よろしいか。
全員	<p>異議なし。</p> <p>～傍聴者1名入室～</p>
会長	それでは、議題（2）学校給食費について説明いただく。
学校給食課長	概要説明
会長	<p>坂戸市は、学校給食を無償化している。一方でこども医療費の負担が大きく、財政面が厳しい点も聞いている。行政サービスは多岐にわたっており、広い視野で見て比較してみないといけないと思う。例えば、川越市では市民は火葬代が無償など他市にはないサービスもあるように、市民も総合的に判断すべきである。今では、個人的にも学校給食費の改定については、一定の理解をしている。</p> <p>また、会合における市長の年頭のあいさつでは、学校給食の無償化は、財源の確保が難しいので、なかなか実現できない旨を陳謝していた。</p>
学校給食課長	行政サービスは幅広いので、検討に当たっては、政策・財政部門とも議論していく必要がある。
委員	他の自治体も学校給食の費用は、賄材料費として支出しており、不足している状況なのか。1食当たりで比較するとどのくらい足りないのか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
学校給食課長	<p>他の自治体も、学校給食費を財源にして食材の費用を捻出している。本市では、規則で月額が定められており、回数で割れば、単価が算出される。</p> <p>運営方式として、本市は、センター方式のみの運営だが、他の自治体は、自校方式が混在していたり、学校給食費そのものが学校によって異なっているところもある。</p> <p>令和6年度の1食当たりの金額としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 253円が20円ほどの不足で273円 ・中学校 303円が24円ほどの不足で327円 <p>と見込んでいます。</p> <p>令和6年度の月額としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 4,350円が352円ほどの不足で4,702円 ・中学校 5,250円が425円ほどの不足で5,675円 <p>と見込んでいるところでございます。</p>
会長	<p>それでは、(2) 学校給食費についてはよろしいか。</p>
全員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>3 報告(1) 学校給食の提供状況について、事務局から説明いただく。</p> <p>概要説明(異物混入の対応について)</p>
会長	<p>特に、ご意見がなければよろしいか。</p>
全員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>4 その他、学校給食費について、再度、ご意見いただきたい。</p>
委員	<p>学校給食費の改定については、社会情勢からみても上がって当然のことと思う。どれくらい上がるのかは、気になるところだが、他の政策とのバランスをみたうえで、さらには交付金の活用もしていただきたい。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委員	<p>学校給食費の改定はやむを得ないと考えるが、どのくらい上がるか、その根拠を示していくべきである。様々な工夫をした結果で、ご協力いただくということで理解してもらえない。そして、そのうえで、金銭面を伝えるだけではなく、食育の大切さ、学校や市の取り組みも充実させることが重要である。</p>
委員	<p>学校給食費の金額としては、県内自治体と比較すると平均的な位置であるが、そろそろ、値上げの時期であろうと考える。施策としては、こども医療費の拡大もあり、分野が広範囲にわたるため、どこに重きをおくべきか判断することは難しいのではないかと。</p>
委員	<p>改定することは、理解できるが、他の自治体の食材費がどのくらい足りないのかなどの詳細な分析は、行っていないか。</p>
学校給食課長	<p>どの自治体も交付金を活用して、何らかの対応を行っている。しかしながら、他市においては、運営、制度や回数も異なり、食材費がどのくらい足りていないのか細かい分析までは行っていない状況である。</p>
委員	<p>私は、現場の検査などに従事しているため、学校給食費に関する技術的なことは専門外である。学校給食が安全で安心であることの視点で仕事をしているので、その他のことはおまかせする。</p>
委員	<p>学校給食がこどもの健康づくりの基本となっていることを再確認したい。栄養の確保のため、学校給食の1食がとても大事である。前提として、まずは質の担保がなくてはいけないので、必要な予算をつけるべきである。もし、国の交付金の活用ができるのであれば、学校給食費をいずれ改定するにせよ、積極的に活用して財源を確保していくことが必要である。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
学校給食課長	いただいたご意見を参考に、学校給食の意義を踏まえながら、給食費の改定について、今後、庁内の検討委員会に諮っていく。
会長	それでは、本日の会議は全て終了とする。